

センターだより

1. ICT 委員会 会議報告

愛知大学情報メディアセンターの事業および運営は、ICT企画会議のもと、三校舎合同のICT委員会を設置し、豊橋および名古屋（車道メディアゾーン含む）情報メディアセンターの事業を推進する。
(2017年10月から2018年9月まで)

2017年度

◇第3回12月16日

1. 2018年度予算申請について
2. 2018年度メディアセンター開館カレンダーについて
3. LMS運営協議会について

協議・報告：

1. 2017年度補正予算について
2. 2018年度実習室PC環境について
3. 2018年度学長裁量経費の公募の活用について

2018年度

◇第1回5月10日

1. インフラ仮想サーバ仕様確認について
2. ルール変更に伴う「電子メール利用内規」の改正
3. 各申請書の修正について
4. 日立ユーザ会の退会について
5. 日本ムードル協会団体会員加入について
6. 所長改選について

協議・報告：

1. 2017年度事業報告書について

◇第2回9月11日

1. 所長改選について
2. 名古屋校舎（1期）エッジスイッチ更新について
3. 全学認証システム更新について
4. SSLVPNのタイムアウト設定について

協議・報告：

1. 教育研究PC更新について
2. 教育用ソフトウェア利用申請について

2. 情報メディアセンター主催行事

(2017年10月～2018年9月)

◆豊橋校舎

開 講 日	講 習 会 名	教室	参加人数
10月6日(金)	Word2013講習会 応用編	421教室	3人
10月10日(火)	PowerPoint2013講習会	523教室	2人
10月16日(月)	Excel2013講習会 グラフ編	413教室	3人
11月10日(金)	PowerPoint2013講習会	421教室	3人
11月14日(火)	Excel2013講習会 関数編	523教室	5人
11月20日(月)	Word2013講習会 応用編	413教室	6人
11月29日(水)	Excel2013講習会 グラフ編	421教室	7人
5月11日(金)	Word2016講習会 基礎編	423教室	6人
5月18日(金)	PowerPoint2016講習会 基礎編	423教室	4人
5月23日(水)	Excel2016講習会 基礎編	523教室	6人
6月15日(金)	PowerPoint2016講習会 基礎編	423教室	2人
6月29日(金)	Excel2016講習会 基礎編	423教室	6人

◆名古屋校舎

開 講 日	講 習 会 名	教室	参加人数
10月4日(水)	グラフ作成講習会 (Excel2013)	L 711教室	1人
10月9日(月)	文書作成講習会 (Word2013)	L 713教室	1人
10月11日(水)	エクセル関数講習会 (Excel2013)	L 711教室	3人
10月30日(月)	エクセル関数講習会 (Excel2013)	L 713教室	3人
10月31日(火)	グラフ作成講習会 (Excel2013)	L 713教室	16人
11月8日(水)	グラフ作成講習会 (Excel2013)	L 710教室	16人
11月10日(金)	パワーポイント講習会 (PowerPoint2013)	L 711教室	1人
11月21日(火)	エクセル関数講習会 (Excel2013)	L 713教室	15人
11月24日(金)	エクセル関数講習会 (Excel2013)	L 713教室	1人
2月20日(火)	グラフ作成講習会 (Excel2013)	GWR 1	1人
2月20日(火)	エクセル関数講習会 (Excel2013)	GWR 1	1人

開 講 日	講 習 会 名	教室	参加人数
2 月 22 日 (木)	グラフ作成講習会 (Excel2013)	GWR 1	2 人
2 月 22 日 (木)	エクセル関数講習会 (Excel2013)	GWR 1	2 人
5 月 8 日 (火)	パワーポイント講習会 (PowerPoint2016)	L 711 教室	2 人
5 月 14 日 (月)	エクセル関数講習会 (Excel2016)	L 713 教室	4 人
5 月 16 日 (水)	グラフ作成講習会 (Excel2016)	L 712 教室	1 人
5 月 21 日 (月)	エクセル関数講習会 (Excel2016)	L 713 教室	3 人
5 月 25 日 (金)	グラフ作成講習会 (Excel2016)	L 713 教室	2 人
6 月 11 日 (水)	エクセル関数講習会 (Word2016)	L 713 教室	6 人
6 月 20 日 (水)	パワーポイント講習会 (PowerPoint2016)	L 710 教室	3 人
7 月 9 日 (月)	エクセル関数講習会 (Word2016)	L 711 教室	2 人
7 月 19 日 (木)	エクセル関数講習会 (Word2016)	L 713 教室	9 人
8 月 20 日 (月)	グラフ作成講習会 (Excel2016)	W 404 教室	4 人
8 月 20 日 (月)	エクセル関数講習会 (Word2016)	W 404 教室	4 人
8 月 22 日 (水)	文書作成講習会 (Word2016)	W 401 教室	4 人
8 月 22 日 (水)	パワーポイント講習会 (PowerPoint2016)	W 401 教室	4 人
9 月 28 日 (金)	文書作成講習会 (Word2016)	L 711 教室	1 人

◆車道校舎：主催行事なし

2017年度Moodle（LMS）運営業務報告

1. Moodle講習会

Moodleの利用促進のため、Moodle講習会を以下の通り実施した。

①第24回Moodle講習会

校舎	開催日時	場所
豊橋	5月25日 2・3限	5号館 514教室
名古屋		厚生棟 W401教室

②第25回Moodle講習会

校舎	開催日時	場所
豊橋	10月19日 2・3限	4号館 424教室
名古屋		厚生棟 W402教室

③第26回Moodle講習会

校舎	開催日時	場所
豊橋	3月22日 2・3限	4号館 421教室
名古屋		厚生棟 W401教室

第24回 教員向け Moodle講習会のお知らせ!

ご説明・ご意見を
お寄せください!

参加・不参加に関わらずご質問やご要望をお寄せください。
当日の講習内容に反映させるほか、メールなどでも回答いたします。

1 日時 5/25 2・3 限

2 限【初心者向け講習会】 名古屋校舎 10:45～ 豊橋校舎 11:00～

3 限【利用者向けワークショップ】 名古屋校舎 13:00～ 豊橋校舎 13:20～

2 場所 名古屋校舎 厚生棟 W401教室 / 豊橋校舎 5号館 514教室

3 初心者向け講習内容

- 操作方法説明
コースリクエストと初期設定／教材配布（ファイルアップロード）／レポート課題／フォーラム／機能の紹介のみ ・小テスト ・アンケート
- サポート体制、マニュアル設置場所の紹介
コースの開設や教材の配布をはじめ、Moodleの設定から使用方法の説明まで、メディアセンター職員や専門スタッフがおりることに対応します。
パソコンが苦手な先生方にも安心してお使いいただくことができます。
・常駐サポート、メディアセンターサポート

4 利用者向けワークショップ

- 個別相談
コース作成から学生の登録、配布する教材の電子化など、すぐに Moodle を使い始めるための準備を一括に行います。
授業の中で感じる Moodle に対する困りごと、ご不安などの相談にもお答えします。
- 2017年版 Moodle の紹介
2017年版は課題評価などが変わっていますので、実際の画面を見ながら説明いたします。

5 講師 名古屋校舎：運営室 森野誠之
豊橋校舎：株式会社コネクティブ 内田広幸

6 その他
※事前登録の必要はありません。直接教室までお越しください。
※当日は教員向けマニュアルを配布いたします。

講習会に関するお問い合わせ先

名古屋校舎 情報システム課	佐藤 (内線: 20553)	お問い合わせ先 E-Mail
豊橋校舎 情報システム課豊橋分室	水谷 (内線: 1532)	E-mail: moodlestaff@michi-u.ac.jp
豊橋校舎 情報システム課豊橋分室	宮部 (内線: 3100)	

第25回 教員向け Moodle講習会のお知らせ!

ご説明・ご意見を
お寄せください!

第25回は、小テストの作成にチャレンジします。
小テストを試してみたい方、是非ご参加ください!

1 日時 10/19 2・3 限

2 限【初心者向け講習会】 名古屋校舎 10:45～ 豊橋校舎 11:00～

3 限【小テスト作成ワークショップ】 名古屋校舎 13:00～ 豊橋校舎 13:20～

2 場所 名古屋校舎 厚生棟 W402教室 / 豊橋校舎 4号館 424教室

3 初心者向け講習内容

- 操作方法説明
コースリクエストと初期設定／教材配布（ファイルアップロード）／レポート課題／フォーラム／機能の紹介のみ ・小テスト ・アンケート
- サポート体制、マニュアル設置場所の紹介
コースの開設や教材の配布をはじめ、Moodleの設定から使用方法の説明まで、メディアセンター職員や専門スタッフがおりることに対応します。
パソコンが苦手な先生方にも安心してお使いいただくことができます。
・常駐サポート、メディアセンターサポート

4 小テストワークショップ

Moodleの機能を使うと作成が簡単な小テストですが、簡単に作成ができる機能が愛知大学のMoodleには搭載されています。
一定設定してしまえば自動で採点をしてくれる小テストについて、作成ツールを使いながら歩数確認、穴埋めなどの問題を作成していきます。
利用者のための個別相談もあわせて行いますので、お気軽にご参加ください。

5 講師 名古屋校舎：運営室 森野誠之
豊橋校舎：株式会社コネクティブ 内田広幸

6 その他
※事前登録の必要はありません。直接教室までお越しください。
※当日は教員向けマニュアルを配布いたします。

講習会に関するお問い合わせ先

名古屋校舎 情報システム課	佐藤 (内線: 20553)	お問い合わせ先 E-Mail
豊橋校舎 情報システム課豊橋分室	水谷 (内線: 1532)	E-mail: moodlestaff@michi-u.ac.jp
豊橋校舎 情報システム課豊橋分室	宮部 (内線: 3100)	

第26回 教員向け Moodle講習会のお知らせ!

ご説明・ご意見を
お寄せください!

第26回は、2018年版Moodleの説明です。
18年度から使ってみたい方も、是非ご参加ください!

1 日時 3/22 2・3 限

2 限【初心者向け講習会】 名古屋校舎 10:45～ 豊橋校舎 11:00～

3 限【18年度版の説明、相談会】 名古屋校舎 13:00～ 豊橋校舎 13:20～

2 場所 名古屋校舎 厚生棟 W401教室 / 豊橋校舎 4号館 421教室

3 18年度版の説明、相談会

- 操作方法説明
コースリクエストと初期設定／教材配布（ファイルアップロード）／レポート課題／フォーラム／機能の紹介のみ ・小テスト ・アンケート
- サポート体制、マニュアル設置場所の紹介
コースの開設や教材の配布をはじめ、Moodleの設定から使用方法の説明まで、メディアセンター職員や専門スタッフがおりることに対応します。
パソコンが苦手な先生方にも安心してお使いいただくことができます。
・常駐サポート、メディアセンターサポート

4 18年度版のMoodleを使いながら変更点などの説明を行います。

18年度版のMoodleを使いながら変更点などの説明を行います。
コース作成から学生の登録、配布する教材の電子化など、すぐに Moodle を使い始めるための準備を一括に行います。
授業の中で感じる Moodle に対する困りごと、ご不安などの相談にもお答えします。

5 講師 名古屋校舎：運営室 森野誠之
豊橋校舎：株式会社コネクティブ 内田広幸

6 その他
※事前登録の必要はありません。直接教室までお越しください。
※当日は教員向けマニュアルを配布いたします。

講習会に関するお問い合わせ先

名古屋校舎 情報システム課	佐藤 (内線: 20553)	お問い合わせ先 E-Mail
豊橋校舎 情報システム課豊橋分室	水谷 (内線: 1532)	E-mail: moodlestaff@michi-u.ac.jp
豊橋校舎 情報システム課豊橋分室	宮部 (内線: 3100)	

2. Moodle 利用状況

(A) コース利用状況

運用開始9年目の2017年度は、597コース、延べ300名の教員の利用があった。
合計コース数および利用教員数ともに、前年度と比較して6～7％程度増加した。

2016・2017年度コース登録数及び利用教員数（利用人数は、延べ人数）

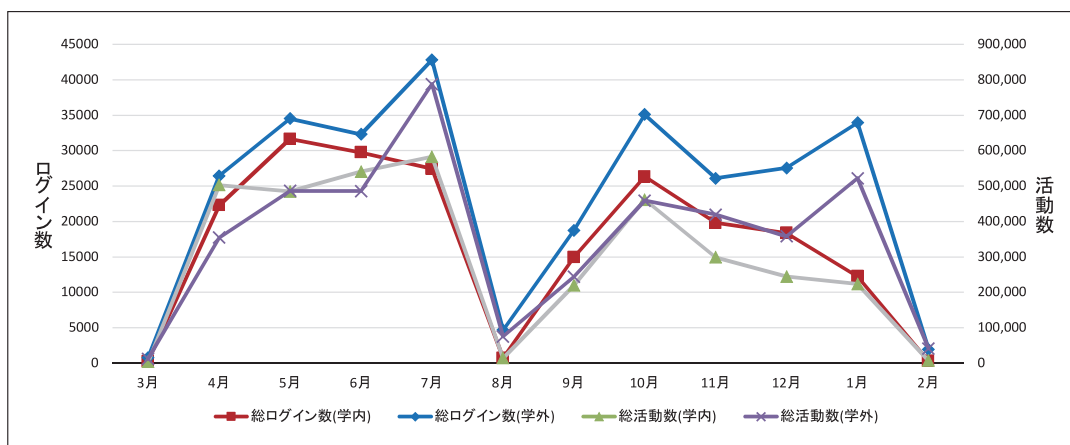
カテゴリ	17年度春学期		17年度秋学期		合計		前年比率	
	コース数	教員数	コース数	教員数	コース数	教員数	コース数	教員数
共通教育科目〈豊橋〉	24	16	11	9	35	25	39%	58%
共通教育科目〈名古屋〉	108	47	34	23	142	70	195%	156%
法	32	20	6	4	38	24	119%	133%
現中	14	7	8	4	22	11	88%	85%
経営	47	19	15	8	62	27	87%	100%
経済	37	21	11	8	48	29	126%	107%
文	36	19	17	6	53	25	79%	78%
国コミ	56	18	17	8	73	26	130%	144%
地域	50	21	4	4	54	25	106%	93%
短大	8	6	2	2	10	8	143%	133%
法科	12	6	1	1	13	7	186%	233%
大学院	4	4	1	1	5	5	71%	125%
資格課程	25	9	10	4	35	13	121%	93%
その他	6	4	1	1	7	5	140%	100%
合計	459	217	138	83	597	300	107%	106%

カテゴリ	16年度春学期		16年度秋学期		合計		前年比率	
	コース数	教員数	コース数	教員数	コース数	教員数	コース数	教員数
共通教育科目〈豊橋〉	74	36	15	7	89	43	139%	148%
共通教育科目〈名古屋〉	38	24	35	21	73	45	91%	98%
法	26	15	6	3	32	18	114%	106%
現中	16	8	9	5	25	13	93%	81%
経営	61	22	10	5	71	27	109%	108%
経済	26	17	12	10	38	27	131%	129%
文	43	21	24	11	67	32	112%	133%
国コミ	29	9	27	9	56	18	151%	164%
地域	39	18	12	9	51	27	134%	142%
短大	5	4	2	2	7	6	88%	150%
法科	7	3	0	0	7	3	70%	50%
会計	0	0	0	0	0	0	0%	0%
大学院	4	2	3	2	7	4	700%	400%
資格課程	22	9	7	5	29	14	725%	467%
その他	3	3	2	2	5	5	500%	500%
合計	393	191	164	91	557	282	122%	125%

※2017年度分より会計大学院の記載を削除

(B) サイトアクセス状況

2017年度 学内・学外からのログイン数・活動数推移（月別）



		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計	平均
2015年度	総ログイン数（学内）	472	19,208	17,197	22,004	21,478	604	10,796	21,169	18,094	16,151	11,034	384	158,591	13,216
	総ログイン数（学外）	1,119	20,744	22,111	21,365	34,574	3,837	12,904	24,540	23,599	21,318	31,171	1,738	219,020	18,252
	総活動数（学内）	11,393	256,288	229,328	315,176	355,160	8,376	129,090	249,924	205,368	178,020	163,640	6,136	2,107,899	175,658
	総活動数（学外）	9,393	187,352	210,289	236,483	425,343	53,728	127,574	242,288	219,904	185,126	353,718	17,677	2,268,875	189,073
	ログインあたり活動数（学内）	24.14	13.34	13.34	14.32	16.54	13.87	11.96	11.81	11.35	11.02	14.83	15.98	13.29	14.38
	ログインあたり活動数（学外）	8.39	9.03	9.51	11.07	12.30	14.00	9.89	9.87	9.32	8.68	11.35	10.17	10.36	10.30
2016年度	総ログイン数（学内）	577	18,581	23,614	24,558	24,551	844	14,144	23,480	15,386	14,911	11,525	381	172,552	14,379
	総ログイン数（学外）	1,296	23,523	31,883	29,171	40,270	5,696	17,807	30,686	22,910	22,402	28,114	2,155	255,913	21,326
	総活動数（学内）	18,659	277,868	339,264	400,772	471,513	12,141	223,648	416,410	254,346	256,717	208,724	6,073	2,886,135	240,511
	総活動数（学外）	21,593	294,414	448,733	409,696	674,779	81,657	209,594	388,324	365,260	350,506	428,094	55,851	3,728,501	310,708
	ログインあたり活動数（学内）	32.34	14.95	14.37	16.32	19.21	14.39	15.81	17.73	16.53	17.22	18.11	15.94	16.73	17.74
	ログインあたり活動数（学外）	16.66	12.52	14.07	14.04	16.76	14.34	11.77	12.65	15.94	15.65	15.23	25.92	14.57	15.46
2017年度	総ログイン数（学内）	252	22,285	31,648	29,730	27,430	748	14,941	26,339	19,795	18,381	12,241	301	204,091	17,008
	総ログイン数（学外）	807	26,443	34,528	32,313	42,790	4,679	18,719	35,109	26,105	27,550	33,932	1,963	284,938	23,745
	総活動数（学内）	3,321	502,910	484,384	540,335	582,451	13,854	219,535	461,564	298,655	244,556	223,295	7,013	3,581,873	298,489
	総活動数（学外）	12,434	354,446	486,314	485,676	787,910	75,479	243,875	458,915	419,385	358,040	521,772	41,407	4,245,653	353,804
	ログインあたり活動数（学内）	13.18	22.57	15.31	18.17	21.23	18.52	14.69	17.52	15.09	13.3	18.24	23.3	17.55	17.59
	ログインあたり活動数（学外）	15.41	13.4	14.08	15.03	18.41	16.13	13.03	13.07	16.07	13	15.38	21.09	14.9	15.34
前年同月比	総ログイン数（学内）	43.7%	119.9%	134.0%	121.1%	111.7%	88.6%	105.6%	112.2%	128.7%	123.3%	106.2%	79.0%	118.3%	118.3%
	総ログイン数（学外）	62.3%	112.4%	108.3%	110.8%	106.3%	82.1%	105.1%	114.4%	113.9%	123.0%	120.7%	91.1%	111.3%	111.3%
	総活動数（学内）	17.8%	181.0%	142.8%	134.8%	123.5%	114.1%	98.2%	110.8%	117.4%	95.3%	107.0%	115.5%	124.1%	124.1%
	総活動数（学外）	57.6%	120.4%	108.4%	118.5%	116.8%	92.4%	116.4%	118.2%	114.8%	102.1%	121.9%	74.1%	113.9%	113.9%

※2017年度4月は日本語eラーニングのデータ削除が総活動数（学内）に含まれています

3. ICT 委員会構成員

◆ICT 委員（2018 年 10 月 1 日現在）

役職名	所 属	氏 名
情報メディアセンター所長	経 営 学 部	岩田 員典
委 員	文 学 部	関 義正
	地 域 政 策 学 部	蔣 湧
	短 期 大 学 部	龍 昌治
	法 学 部	多田 哲也
	経 営 学 部	毛利 元昭
	現 代 中 国 学 部	吉川 剛
	経 済 学 部	池森 均
	国際コミュニケーション学部	梅垣 敦紀
	法 科 大 学 院	伊藤 博文

◆情報メディアセンター事務室

情報システム課	課 長	三浦 文博
	係 長	石原有希子
	課 員	太田 裕介
		佐藤 源
		濱口 庸介
情報システム課 豊橋分室	係 長	水谷 伸司
情報システム課 車道分室	係 長	宮部 浩之

4. 愛知大学 情報メディアセンター沿革・歴代所長

年度	組織		所長（任期）		システム沿革
			豊橋	名古屋	
1978					IBM 製ホストコンピュータ4331 導入
1979					
1980	電子計算機センター	電子計算機センター委員会	津村 善郎 (1980. 4. 1～1982. 4. 30)		
1981					
1982					
1983			福田 治郎 (1982. 5. 1～1985. 3. 31)		
1984					
1985					
1986			高橋 正 (1985. 4. 1～1989. 3. 31)		
1987					
1988					第1期教育研究情報システム稼働 1988.4-1991.3
1989	情報処理センター	情報処理センター委員会 豊橋情報処理センター委員会 名古屋情報処理センター委員会	坂東 昌子 (1989. 4. 1～1990. 9. 30)		日立製ホストコンピュータ(HITAC M-640/20) 導入
1990					
1991				藤田 佳久 (1989. 4. 1～1994. 9. 30)	第2期教育研究情報システム稼働 1991.4-1994.3
1992				浅野 俊夫 (1990. 10. 1～1992. 9. 30)	
1993				有澤 健治 (1992. 10. 1～1994. 9. 30)	
1994					第3期教育研究情報システム稼働 1994.10-1997.3 (全校舎学内LAN敷設)
1995					
1996			樋口 義治 (1994. 10. 1～1998. 9. 30)	長谷部 勝也 (1994. 10. 1～1998. 9. 30)	
1997					第4期教育研究情報システム稼働 1997.4-2000.9 (延長6ヶ月)
1998					
1999			宮沢 哲男 (1998. 10. 1～2000. 3. 31)	有澤 健治 (1998. 10. 1～2000. 9. 30)	
2000					10月 第5期教育研究情報システム稼働
2001			小津 秀晴 (2000. 4. 1～2002. 9. 30)	田川 光照 (2000. 10. 1～2002. 9. 30)	
2002					
2003					
2004	情報メディアセンター	情報メディアセンター委員会 豊橋情報メディアセンター委員会 名古屋情報メディアセンター委員会	龍 昌治 (2002. 10. 1～2008. 9. 30)	坂東 昌子 (2002. 10. 1～2006. 9. 30)	4月 第6期教育研究情報システム稼働
2005					
2006		情報メディアセンター運営会議 豊橋情報メディアセンター運営会議 名古屋情報メディアセンター運営会議			
2007				中尾 浩 (2006. 10. 1～2008. 9. 30)	
2008		ICT企画会議 豊橋ICT委員会 名古屋ICT委員会			4月 第7期教育研究情報システム稼働
2009			蔣 湧 (2008. 10. 1～2010. 9. 30)	伊藤 博文 (2008. 10. 1～2012. 9. 30)	
2010					
2011			沓掛 俊夫 (2010. 10. 1～2012. 9. 30)		
2012		ICT委員会			4月 新名古屋校舎システム稼働
2013			中尾 浩 (2012. 10. 1～2014. 9. 30)		
2014					
2015					
2016			松井 吉光 (2014. 10. 1～2018. 9. 30)		
2017					
2018			岩田 貝典 (2018. 10. 1～)		

編集後記

今号には、4本の論文を掲載することができました。いずれも情報技術を利用した教育実践や研究に関する意欲的な取り組みです。数号にわたって継続して投稿いただいているテーマもあり、研究や教育への情熱、姿勢は敬服に値します。これらの論考や成果が、広く学内外で共有され、またこれを基盤として新たな活動が行われることを期待します。情報技術の利用は、コンピュータやコミュニケーションとともに、コミュニティにも広がります。これらは本紀要の愛称「COM（コム）」の由来でもあり、情報メディアセンターの存在意義そのものでもあります。

ところで最近の入学生に対するアンケートによれば、パソコンの所有率は低下傾向です。政財界のトップでも、パソコンを使わない・使ったことがないとか、話題になりました。確かに、わざわざ電源を入れ、OSやアプリケーションが起動するのを待って、やおら10本の指で不規則に並んだキーボードを連打するのは、前時代的なのかもしれません。だいたいパソコンは大きくて邪魔だし、よく壊れる！ その点、スマートフォンは常にポケットにあるし、いつでもどこでも手軽に使える。財布代わりになれば、メッセージも送れるし、写真も撮れるし、電話だってできる！ こんな便利なものを使わない手はない。パソコンが使えないなどと嘆く必要は、まったくないのです。

このような時代にあって、情報利活用とは何でしょうか。

気がつけば、身の回りには情報機器があふれています。科学や技術、工学、数学を統合したSTEM教育も盛んです。情報家電やIoT機器を使いこなしつつ、自ら必要なモノやアイデアを創り出し、また安全に、そして有効に情報を使うためには、何が必要なのでしょう。あえて紙や鉛筆を使い、直接あるいは間接に、人々と考えや思いを共有したいとは思いませんか。情報メディアセンターがそのようなコミュニティの場になればと思います。

(S.R)

愛知大学情報メディアセンター紀要〈COM〉 原稿募集要項

情報メディアセンター紀要〈COM〉は、下記の要領で原稿を募集しています。詳細につきましては、情報メディアセンターまでお問い合わせください。

1. 著者の資格

- (1) 本学教職員および本学教職員との共著者
- (2) 本学非常勤教員
- (3) 本学学生（教員と共著とする。）
- (4) 編集委員会が認めたもの

2. 投稿原稿の内容

投稿原稿は未発表のもので、下記に關係する内容とする。

- (1) 情報教育に関する理論と実践
- (2) 情報科学や情報工学に関する理論とその応用
- (3) 情報システムに関する調査、分析、理論
- (4) コンピュータを活用した研究、教育、および業務等の実践報告
- (5) 本学のコンピュータ利用に関して必要と思われる情報メディアセンターの報告
- (6) その他（編集委員会が認めたもの）

3. 投稿原稿の区分

投稿された原稿は編集委員会の審査に従って、下記のように区分して掲載する。ただし、法令等に抵触する、内容に著しい不備がある、執筆要項に従わないなどの問題があるものは、原稿の修正を依頼することや、掲載を見合わせることもある。

- (1) 論文
- (2) 研究ノート
- (3) 情報教育実践報告
- (4) 書評（新刊・古典・ソフトウェア）
- (5) 学会動向

※原稿の体裁と見本については別紙を参照のこと。

4. 原稿の提出要領

- (1) 原稿は、電子ファイルで提出すること。
- (2) 完成された投稿原稿のみを受理する。
- (3) 提出する電子ファイル名は、投稿原稿のタイトルとすること。
- (4) 図版等がある場合は、その電子ファイルもあわせて提出すること。
図版等のファイル形式はjpegとする。
- (5) 提出ファイルは、原則 Microsoft Word またはテキスト形式とする。

ただし、その他の形式であっても編集委員会が認めた場合は受理する。

- (6) 裏表紙（目次用）として、タイトル、著者名の欧文を添えること。
- (7) 著者は連絡先（ゲラ等の送付先）の住所、電話番号を申し込み先の担当者まで連絡すること。

5. 投稿原稿の体裁

投稿原稿は横書きとし、図・表などは適切な場所に分かりやすく挿入すること。
なお、投稿原稿はCOM編集委員会にて共通したフォーマットに統一する。

6. 校正

- (1) 校正は著者校正を2回とする。
- (2) 校正段階での内容の変更は、編集作業に支障をきたさない範囲で行なうこと。

7. 著作権

- (1) 提出された論文の著作権は、原則として愛知大学情報メディアセンターに属し、無断で複製あるいは転載することを禁じる。
- (2) 論文作成に際して用いたコンピュータソフトや映像ソフト等の著作権に関する問題は、著者の責任において処理済みであること。他人の著作権の侵害、名誉毀損、その他の問題が生じないように十分に配慮すること。
- (3) 万一、執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの指摘がなされ、第三者に損害を与えた場合、著者がその責を負う。
- (4) 著作人格権は著者に属する。
- (5) 本誌に掲載された原稿は、学内においては、愛知大学情報メディアセンターホームページおよび愛知大学リポジトリにてデジタル公開するものとする。
- (6) 本誌に掲載された原稿は、学外においては国立情報学研究所等へ登録される。

8. その他

- (1) 別刷りは著者に対して希望を調査し、原則として30部以内で無料進呈する。
- (2) 著者には紀要を2部進呈する。ただし希望があれば10部を限度として進呈する。

以上

申し込み・問い合わせ：愛知大学情報メディアセンター

担当：情報システム課 太田 裕介

E-mail：johosystem@ml.aichi-u.ac.jp

TEL：052-564-6117（内線20554）

FAX：052-564-6217（内線20569）

愛知大学情報メディアセンター紀要〈COM〉 執筆要項

1. 執筆言語

和文もしくは英文とする。

2. 原稿

- (1) 論文……和文の場合は30,000文字程度、英文の場合は15,000 words程度を上限とする。ただし、図版等の数量に応じて調節すること。
- (2) 研究ノート……和文の場合は20,000文字程度、英文の場合は10,000 words程度を上限とする。ただし、図版等の数量に応じて調節すること。
- (3) 情報教育実践報告……和文の場合は20,000文字程度、英文の場合は10,000 words程度を上限とする。ただし、図版等の数量に応じて調節すること。
- (4) 書評（新刊・古典・ソフトウェア）……和文の場合は5,000文字程度、英文の場合は3,000 words程度を上限とする。書評（新刊・古典）には図版等を挿入することはできないが、ソフトウェアレビューについては若干の図版を添えることが出来る。
- (5) 学会動向……COMのフォーマットに従う。
長文の場合は分載や再提出等の措置を求めることがある。

3. 著者と所属

著者名と所属を記載し、著者名のあとにカッコ（ ）に入れて所属を記載する。

4. セクションタイトルとセクション記号

本文中の章、節、項、目などの立て方は、原則として以下のとおりとする。

(例)

1. 章タイトル
- 1.1 節タイトル
- 1.1.1 項タイトル
- (1) 目タイトル

5. 図・表・写真

図・表・写真は、本文中の適当な箇所に挿入すること。または、挿入箇所を明確にすること。

ただし、COM編集委員会にて挿入位置、サイズを変更する場合があるが、変更不可の場合は明記のこと。

(1) 表について

表の上部に「表○ 表名」（○は表の一連番号）を記載すること。

(2) 図・写真について

図・写真の下部に「図○ 図名」(○は図の一連番号) または「写真○ 写真名」(○は写真の一連番号) を記載すること。

6. 要旨とキーワード

論文と研究ノートには要旨とキーワードをつける。要旨は400字以内(200words以内)で執筆し、本文と同じ言語でもよいし、異なった言語でもよい。キーワードは国立情報学研究所のCiNii等への正確な登録のために、5～7語程度のキーワードをつける。

7. 謝辞

謝辞を記載する場合は、本文の最後に謝辞と小見出しを使い記載する。

8. 注

注を記載する場合は、以下のいずれかの方法による。

- (1) 該当ページの下部または見開きの前後2ページ分の後のページの本文の下部に脚注として記載する。
- (2) 本文の末尾に後注として一括して記載する。本文の後に1行空けてから「注」という見出しを立て、その次の行から、注を一括して記載する。

上記のいずれの場合も本文中の該当箇所には、番号と右丸括弧を使い^{注1)}のように上付きで記すこと。

9. 参考文献

参考文献の記載は、本文の後(注がある場合は注の後)に1行空けてから「参考文献」という見出しを立て、その次の行から、参考文献を一括して記載すること。本文中の該当箇所には、番号と右丸括弧を使い¹⁾のように上付きで記すこと。

参考文献は原則として、雑誌の場合には、著者、標題、雑誌名、巻、号、ページ、発行年を、単行本の場合には、著者、書名、ページ数、発行所、発行年を、この順に記す。引用番号の記し方は本文上に出現した順番とし、次の例を参照にされたい。

(例)

- 1) 山田太郎：偏微分方程式の数値解法，情報処理，Vol.1, No.1, pp.6-10 (1960)。
- 2) Feldman, J.and Gries, D.: Translater Writing System, Comm. ACM, Vol.11, No.2, pp.77-113 (1968)。
- 3) 大山一夫：電子計算機，p.300，情報出版，東京 (1991)。
- 4) Wilkes, M. V: Time Sharing Computer Systems, p.200, McDonald, New York (1990)。

以上

愛知大学情報メディアセンター紀要 COM〔コム〕
Vol.29 No.1 第44号

2019年2月25日 印刷

2019年3月1日 発行

編集 愛知大学情報メディアセンター
〔COM〕編集委員会

発行 愛知大学情報メディアセンター

(名古屋) 名古屋市中村区平池町四丁目60-6

〒453-8777 TEL (052) 564-6117 (直通)
FAX (052) 564-6217

(豊橋) 豊橋市町畑町1-1

〒441-8522 TEL (0532) 47-4124 (直通)
FAX (0532) 47-4125

(車道) 名古屋市東区筒井二丁目10-31

〒461-8461 TEL (052) 937-8120 (直通)
FAX (052) 937-8121

COM 表紙デザイン

経営学部 4年 岡田 晃奈 (オカダ アキナ)

印刷 株式会社荒川印刷
